

コード No. 18275

**Anti-Rat
GRO/CINC-2 α (C) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 μ g

はじめに : IL-8 ファミリーに属するヒト GRO (Growth Related Oncogene)は、内皮細胞の増殖を抑制するポリペプチドで、 α , β , γ の 3 つのアイソフォームを有します。GRO/CINC-1 (cytokine-induced neutrophil chemo attractant 1)は元々、IL-1 β 刺激されたラット腎臓の上皮細胞(NRK-52E)の培養上清から精製されました。ラット CINC-1 をコードするアミノ酸配列は 1989 年に富山医科薬科大学で渡辺らのグループによって同定されました。CINC-1 はケモカインのアルファ(CXC)サブファミリーに属し、それに加え 3 つのラット CXC ケモカイン(CINC-2 α , CINC-2 β , CINC-3/MIP-2)も同定されています。CINC-1 タンパク質の配列は 63-67 %が CINC-2 α , CINC-2 β , CINC-3/MIP-2 と一致しています。また GRO α , GRO β および GRO γ では、CINC-1 とそれぞれ 68 %, 71 %, 69 %の相同性があります。このことから、ラット CINC-1 がヒト GROs のカウンターパートであることが示唆されています。

免疫抗原 : Rat GRO/CINC-2 α の C 端部分合成ペプチド

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 μ g/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 $^{\circ}$ C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 $^{\circ}$ C 保存 2 年間安定

使用目的及び : ウェスタン・ブロッティング約 1 μ g/mL にて使用可能

使用方法

特異性 : Rat GRO/CINC-1, Rat GRO/CINC-2 β , Rat GRO/CINC-3 と非交差